

たかおかこども園

豆 福 豆 豆

節分

豆まき集会

お父さん鬼を退治

きょう3日は「節分」。富士市厚原のたかおかこども園(渡邊宏行理事長)では2日、恒例の節分豆まき集会が開催された。園児父親の有志グループ「PAPA'S」のメンバー11人が鬼役として参加する中、2歳~年長児約200人が豆まきを楽しみ、交流を深めながら季節の伝統行事に親しんだ。

集会は、PAPA'Sのメンバーがアイデアを出し合って決めたというプログラムで進行。最初に優しい鬼役の

メンバー2人が登場し、豆まきには自分の中にいる悪い鬼を追い払うという意味があることなどを説明。「一緒に悪い鬼を退治しよう!」と呼び掛けた。

その直後、太鼓の音とともに▽泣き虫▽散らかし▽怒りんぼう▽野菜嫌いなど、さまざまな悪い鬼に扮(ふん)した他のメンバーが会場に乱入。お面を着け、大きな金棒を片手に園児に近付くと、場内は「来

メンバ―2人が登場し、大騒ぎになった。中には泣いてしまったり教諭の後ろに隠れてしまったりする園児の姿もあったが、優しい鬼役のメンバーや教諭たちと協力して「鬼は外」「福は内」の掛け声とともに元気いっぱいに豆をまき、鬼退治に成功した。

退治した鬼たちがお面を取っていい鬼に変身したことを確認すると、園児たちは「安心。童謡『鬼のパンツ』を一緒に踊り、笑顔を広げた。PAPA'Sの和田大介会長は「厄をはらうという豆まきの意味や日本の伝統を、楽しみながら学んでもらいたら」と話した。



「鬼は外」「福は内」の掛け声で豆をまいた



鬼の姿に驚き、泣いたり教諭の後ろに隠れたりする園児も



いい鬼に変身したメンバーと踊った